

## 開催経緯

**2010年1月12日** ハイチ共和国の首都ポルトープランスにてマグニチュード7.0の地震が発生。首都は崩壊し、一瞬にして22万人の死者と300万人の被災者をだした。瓦礫の中からの救出は遅々として進まず、衛生状態は悪化し感染症の蔓延が始まっていた。このニュースにより、日本リザルツは翌月2月から毎月12日に水道橋駅近くの交差点にてハイチ支援を目的とする街頭募金を開始した。

**2010年4月19日～28日** ハイチで30年以上結核患者のために活動を続けていらっしやる須藤昭子シスターとのご縁もあり、シスターのハイチへの一時帰国へ同行した。震災後3か月たったとはいえ街は瓦礫の山で、多くの人々は拾ってきた木材と布で作ったテントに肩を寄せ合って暮らしていた。西半球で最大の結核有病率であるハイチの結核医療の拠点 GHESKIO(ゲスキオ)、その関連施設等を視察した。エイズとの二重感染、多剤耐性結核の患者も崩壊した病院の敷地内のテントに収容されていた。かつて日本政府の支援により建設された国立結核療養所(須藤シスターの医療拠点)も瓦礫と化し、患者は感染が危惧されるまま家に帰るかテントでの生活となっていた。震災前よりシスターはハイチの人々の自立支援を目指し、農業支援を目的としたGEDDH(ジェッド)を主催し成果をあげていらした。

**2010年5月** ハイチ支援に関する要望書を当時の外務大臣岡田克也氏に須藤シスターと共に提出した。シスターからの要望は、シグノーの国立結核療養所の再興と農業技術学校の建設。リザルツからは、感染症対策としてシグノーの国立結核療養所の再興と JICA 技術協力プロジェクトの継続、持続的貧困対策として農業技術学校建設の支援、日本が得意とする耐震対策支援、上下水道計画支援、NGO プロジェクト形成支援を要望した。

**2010年7月** リザルツの街頭募金のおり、(株)三河屋奥右衛門の石川泰久氏が声をかけてくださった。石川氏は20年前にハイチ絵画の芸術性に魅了され130点ほどのハイチ絵画を所有。石川氏はハイチ支援を目的とした展覧会をされており、収益を寄付としてどこに送るのがいいのか相談を受けた。リザルツは須藤シスターをご紹介し、彼女を通じハイチ結核患者のために寄付が使われる道ができた。

**2010年9月** 石川氏とリザルツの間で、ハイチアート展覧会開催の企画が持ち上がった。石川氏所有のハイチの絵画と1988年からハイチを撮り続けている写真家佐藤文則氏の作品を中心に、ハイチの状況を知ってもらい継続的な支援を喚起すること等、話し合われた。

**2011年1月11、12日** 「大地震被災一周年 ハイチアート展覧会 ～アートが命を繋ぐ～」憲政記念館にて開催。

**2011年2月9日～19日** ハイチ結核調査視察の予定 - 森亨(STB パートナーシップ日本代表理事)、白須紀子(日本リザルツ事務局長)、佐藤文則(写真家)等による調査。

\*\*\* 皆様からお預かりしたご寄附は、須藤シスターに直接お渡しいたします。\*\*\*

**2011年 年末** ニューヨークの国連本部ロビーにてハイチアート展覧会～アートが命を繋ぐ～を開催予定。

## ハイチアート展覧会 ご報告

**後援いただいた団体:** ハイチ大使館、外務省、厚生労働省、内閣府政策統括官(防災担当)、国際労働機関(ILO)駐日事務所、日本赤十字社、日本ハイチ友好議員連盟、ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟、(特活)国際協力 NGO センター、動く→動かす、市民キャビネット、(特活)NPO 事業サポートセンター、(特活)世界の医療団、(特活)アムダ、(特活)ストップ結核パートナーシップ日本、国際連帯税を推進する市民の会、リザルツ教育基金

**ご協力いただいた団体:** ハイチの会セスラーハイチコーヒーと軽食のご提供、日本ラム協会ーラム酒のご提供

**活動の資料とパンフレットをご提供いただいた NPO/NGO:** ハイチ友の会、ハイチの会セスラ、ハイチの会、(特活)難民を助ける会、(特活)ICA 文化事業、(特活)ジェン、公益財団法人ケア・インターナショナルジャパン、(特活)アムダ、(特活)メドウサン・デュ・モンドジャパン(世界の医療団)

**1月11日、オープニングセレモニーでご挨拶いただいた方々:** ウィネアー・ジャン・バティストハイチ共和国代理大使、日本ハイチ友好議員連盟会長 谷垣禎一衆議院議員、ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟副会長 大河原雅子参議院議員、外務省中南米局中米カリブ課長 本清耕造氏、逢沢一郎衆議院議員、外務省大臣官房 官房長 木寺昌人氏、佐野市副市長 石田正巳氏、日本リザルツ 理事長 浅野茂隆

**1月12日、ご挨拶いただいた方々:** 日本ハイチ友好議員連盟事務局長 羽田雄一郎参議院議員、STB 推進議員連盟副会長 古屋範子衆議院議員、STB 推進議員連盟事務局長 浜田昌良参議院議員、姫井由美子参議院議員

**入場者数:** 約300人